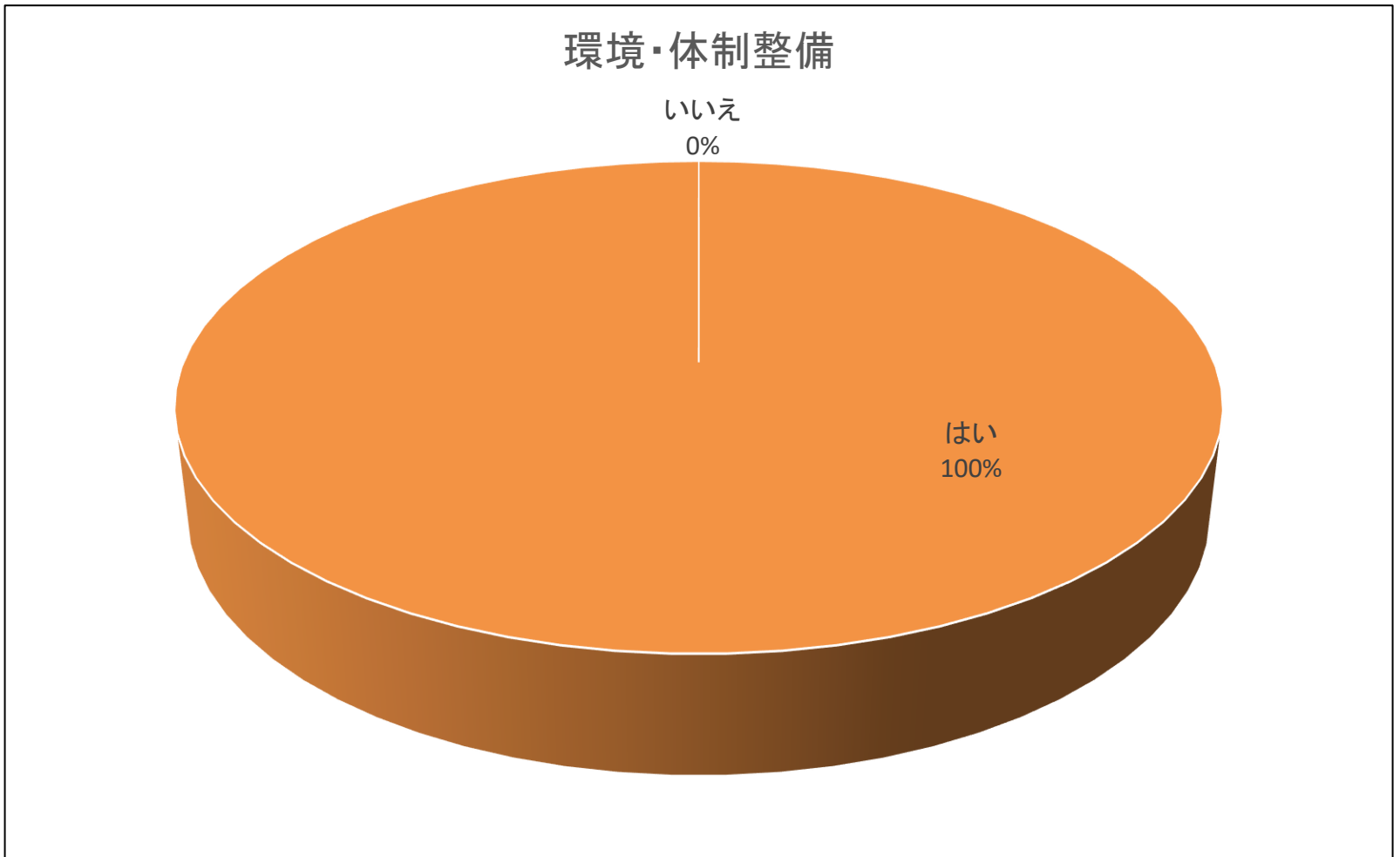


児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

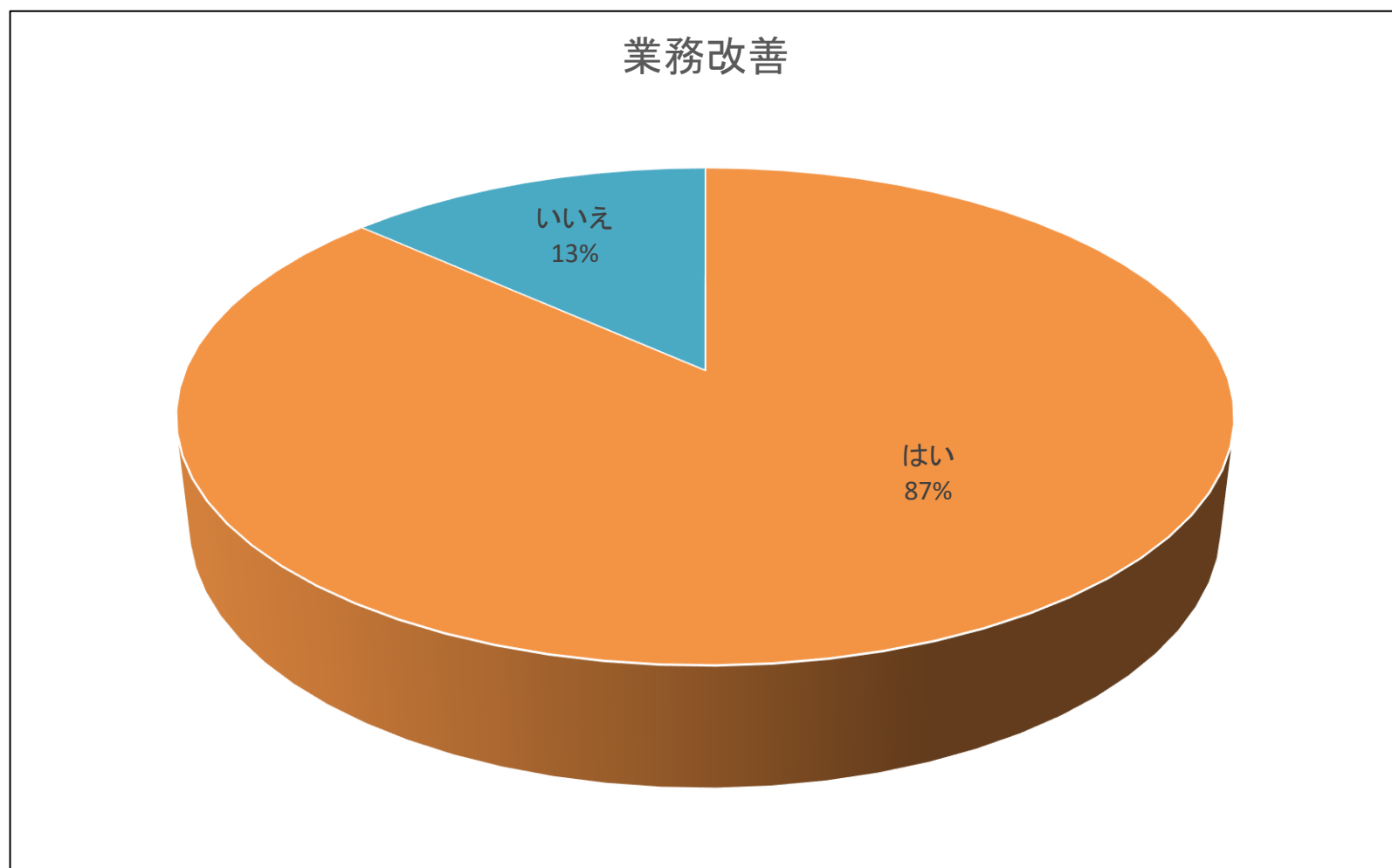
公表:令和4年12月1日

事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	* 当日の利用人数に合わせ、交流スペースや別室を利用する等している。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	* 基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	* 障害特性に応じた環境づくりを心掛けているが、設備等の改善を図った部分についてお便り等に明記し、情報伝達を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	* サービス開始前と終了後、毎回部屋の清掃や玩具の消毒を行うとともに活動に合わせて机やパーテーションで空間を仕切るなど工夫している。
	合計			24	0

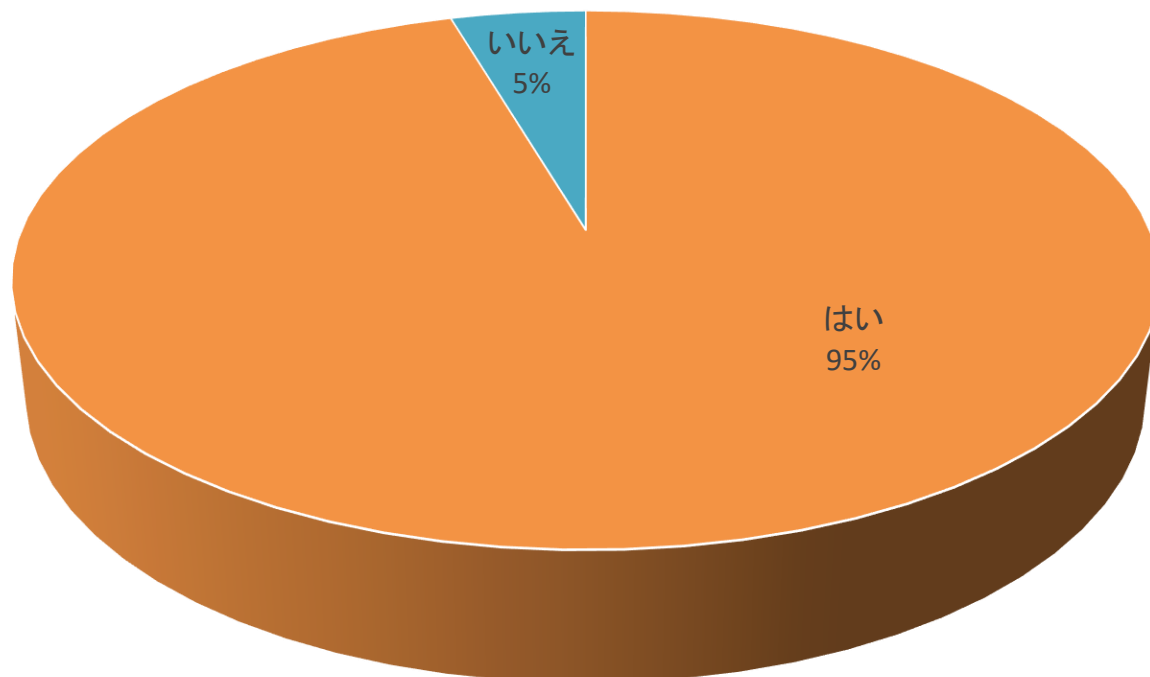


		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	* 職員会議の中で、業務改善について話し合った時間を設け、改善に取り組むとともに職員も個人目標の管理シートによって評価している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	* アンケート調査でいただいた評価結果により、意向を明確にし、改善を図っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	* ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	* 第三者による外部評価は行っていない。今後は、行うかどうか検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	* 月に1回の内部研修と外部研修の計画を作成し、職員みんなが参加できるよう計画している。
		合計	26	4	

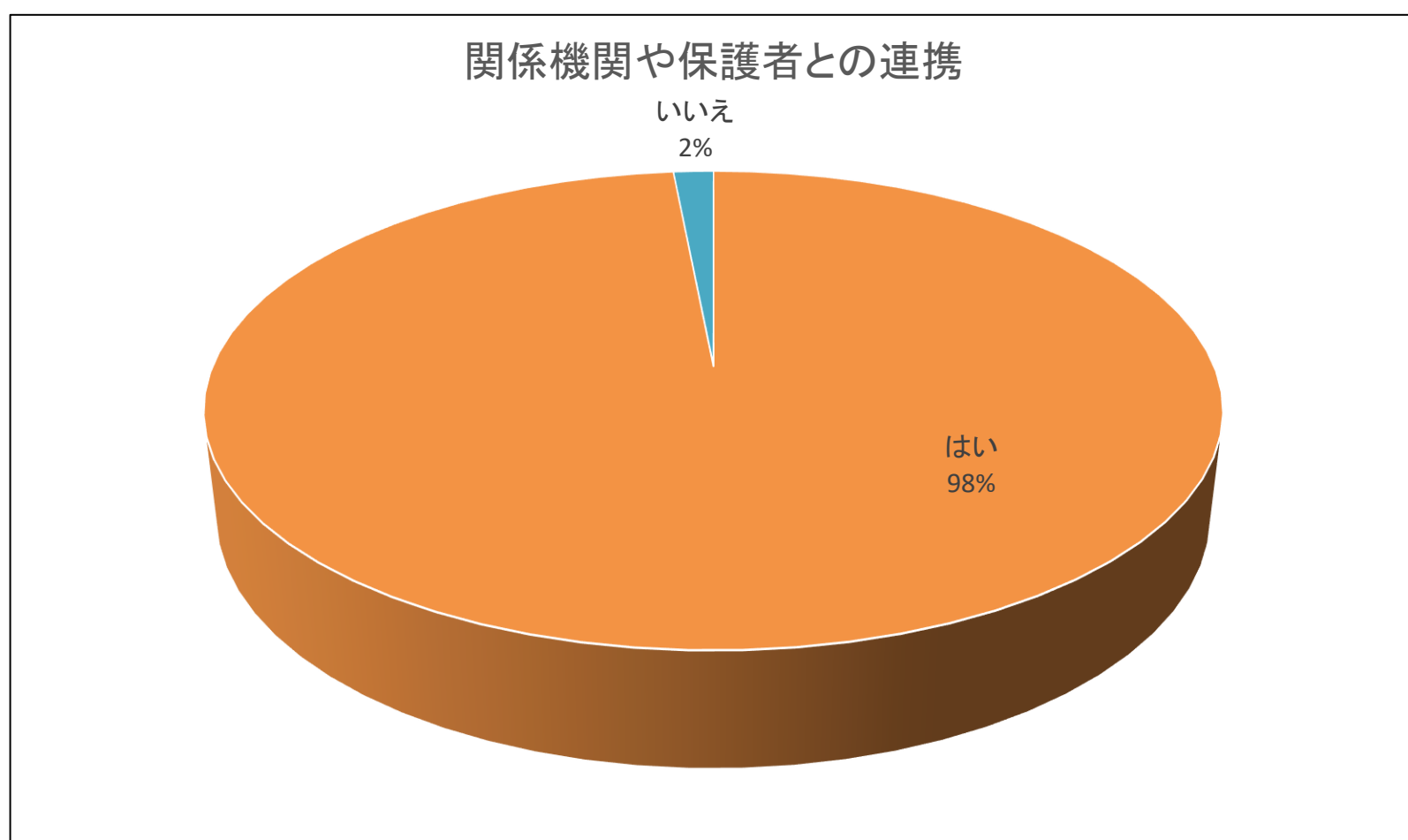


	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	10	6	0	* サービス担当者会議や個別の聞き取りでアセスメントを行い、ニーズや課題を明確にし、関係機関の意見も参考にして作成している。
	11	6	0	* 施設の様式で利用開始時のアセスメントを行い、その後は月1回振り返りシートによって定期的のアセスメントをしている。
	12	5	1	* 特性に応じ、1人1人の支援に必要な項目が充足されているかを確認している。
	13	6	0	* 支援振り返りシートやモニタリング時に評価したり、日々のミーティング等で適宜確認を行いながら支援している。
	14	4	2	* 前月に予定を立案し、計画的に実施しているが、活動プログラムをその都度関係機関や保護者にも確認し、慎重に検討していく。
	15	6	0	* 評価の際に、プログラムについて見直しを行っている。
	16	6	0	* 1人1人の課題や利用日に応じて、全般的な視点で活動を組み合わせ、サービス導入時や計画書の更新時に、関係者や保護者の意見を伺い作成している。
	17	6	0	* 朝のミーティングで打合せと確認を実施している。
	18	6	0	* 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。
	19	6	0	* 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。
	20	6	0	* 毎月定期的に振り返りシートによりモニタリングを行い、見直しが必要と思われる場合は、計画の変更を行っている。
	合計	57	3	

適切な支援の提供

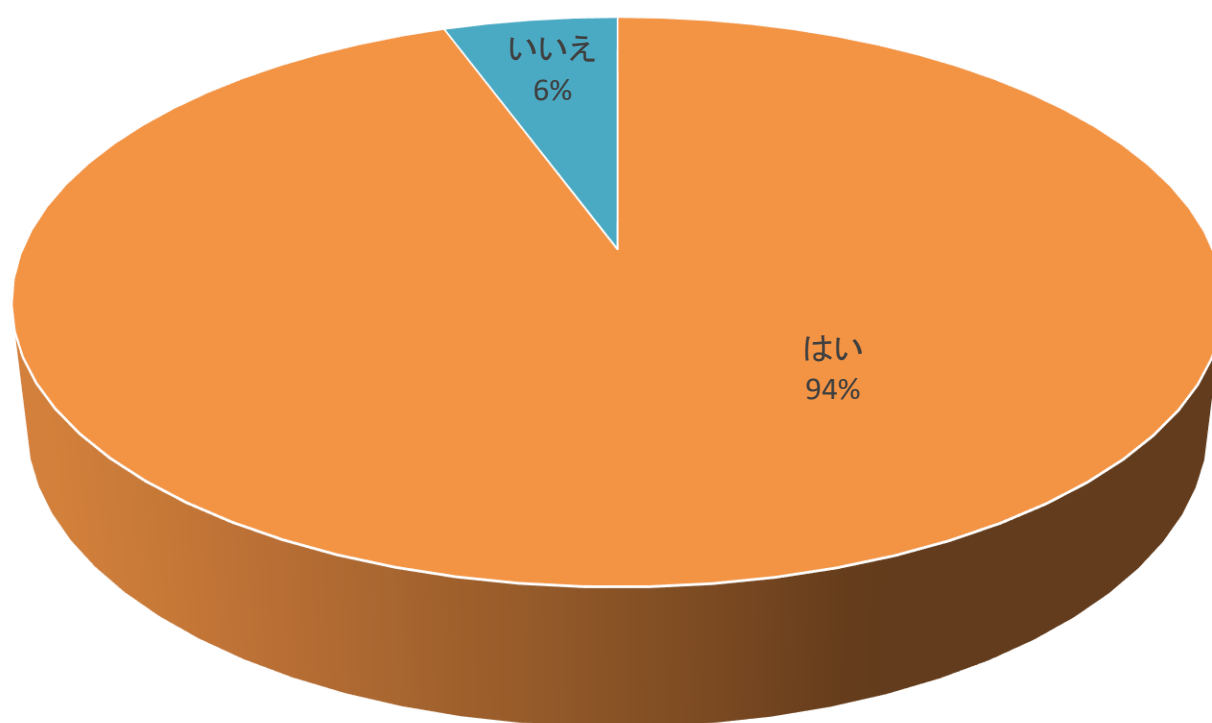


	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	* 利用児に対し、担当の職員を配置し、児童発達支援管理責任者と一緒に会議に参加している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	* 利用開始時に担当の保健師との情報共有を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	* 必要時には、関係機関と連携を行っている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	* 必要時には、医療機関と訪問看護と保健師等の関係者間で連絡体制がとれるよう体制を整えている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	* 移行時に訪問や会議を行い、情報の共有を図っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	* 移行時に訪問や会議を行い、情報の共有を図っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	* 医療的ケア児については、県の医療的ケア児支援センターから助言を受けている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	* コロナ過のため、少人数で市が開催する障害のない子どもたちと活動するうさちゃん広場等に参加している。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	* 施設の管理者が参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	* 送迎時に、保護者に状況を報告したり、相談を受けたりするとともに連絡帳なども利用し、共通理解に努めている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	* 職員がペアレント・トレーニングの研修を受け、体制を整えている。
合計	65	1		

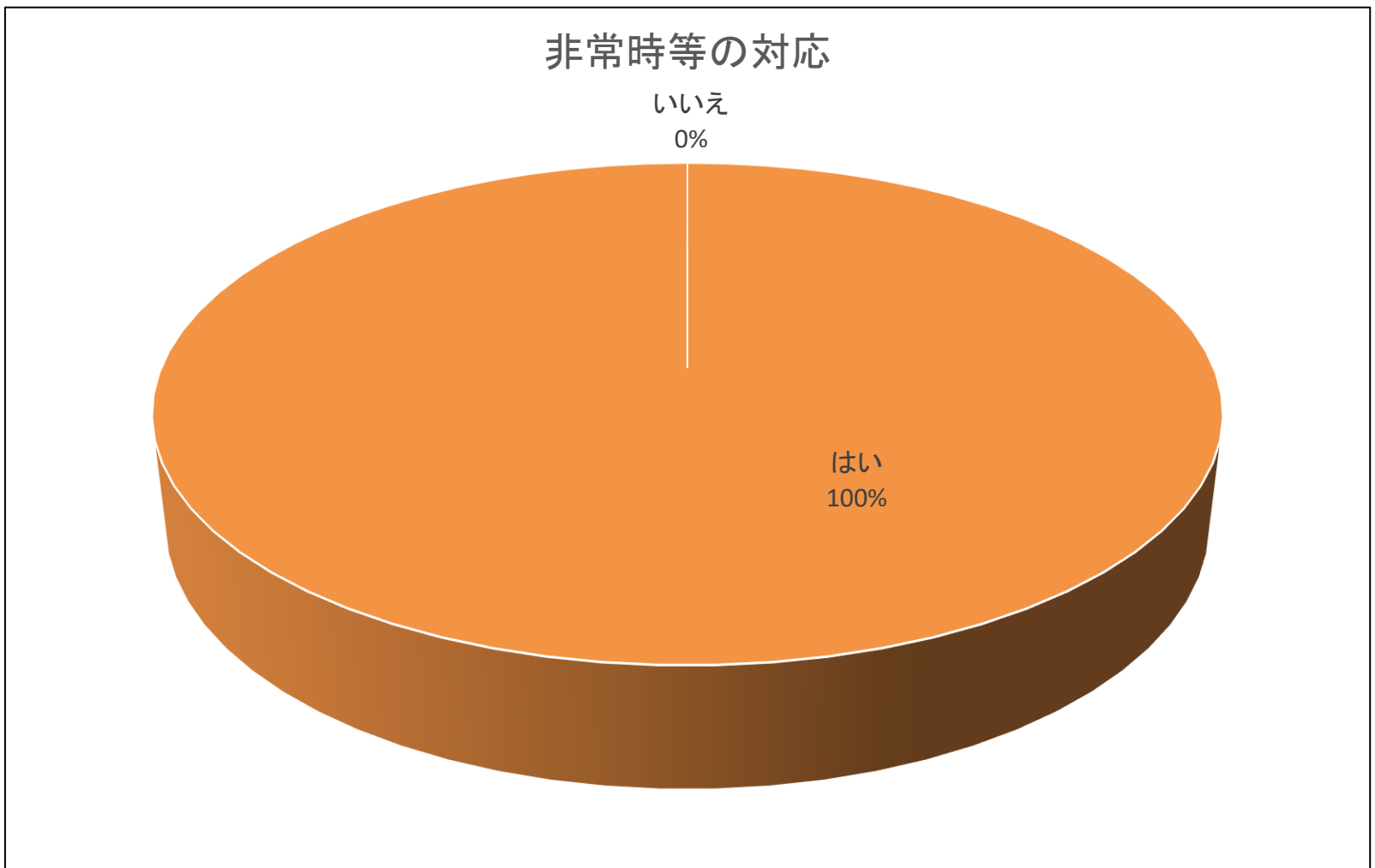


	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	* 契約時に口頭と書面で説明を行っている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	* 支援計画作成時に、口頭と書面で説明を行っている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	* 送迎時等に、保護者に声をかけ話しやすい雰囲気作りに努め、悩み等の相談を聞き取れるようにしている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	* コロナ過で叶わない部分もあったが、感染対策をしっかりとった上で保護者会を開催している。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	* 相談や申し入れがあった場合は、できる限り迅速に対応できるように努めている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	* 毎月、行事予定のおたよりを配布している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	* 職員に周知徹底している。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	* 1人1人の特性や状況に応じて必要なツール等を使用し、コミュニケーションをとるようにしている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	* コロナ過のため叶わなかったが、時機を見て行事等を計画していく。
	合計	51	3	

関係機関や保護者との連携



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41	6	0	* マニュアルは策定されており、発生を想定した訓練も定期的を実施しているが、保護者に対しても周知していく。
	42	6	0	* 毎月1回、訓練を行っている。
	43	6	0	* 利用開始時の確認と受診状況の確認を行っている。
	44	6	0	* 児童発達利用のお子さんでアレルギー対応の子はいないが、アレルギー対応については、弁当持参をお願いしている。
	45	6	0	* リスクマネジメント委員会で作成し、毎月会議で情報共有している。
	46	6	0	* 内部研修と外部研修への参加を確保している。
	47	6	0	* 虐待防止委員会を設置し、定期的研修を実施して職員に周知徹底している。
	合計	42	0	



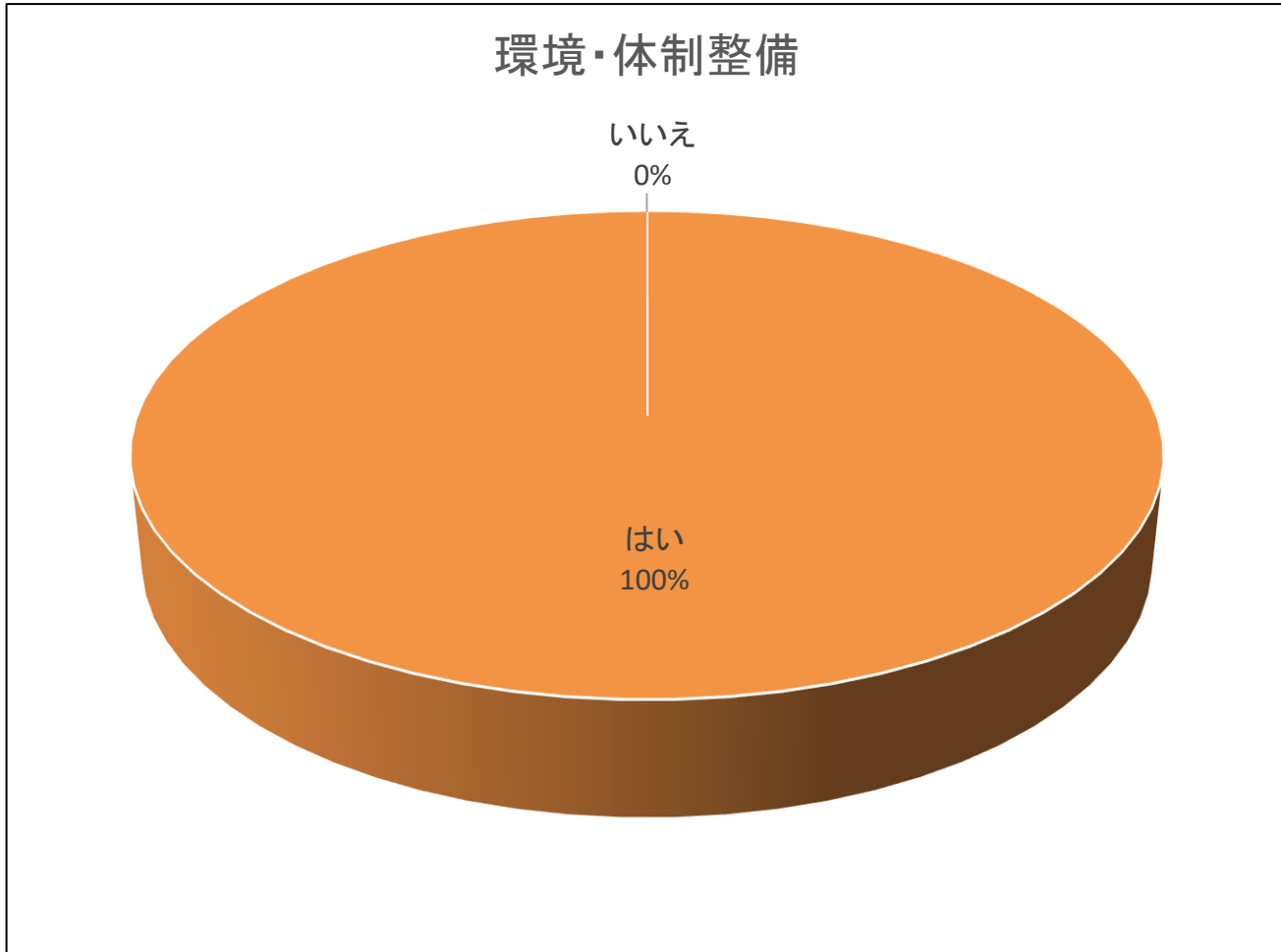
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 12月 1日

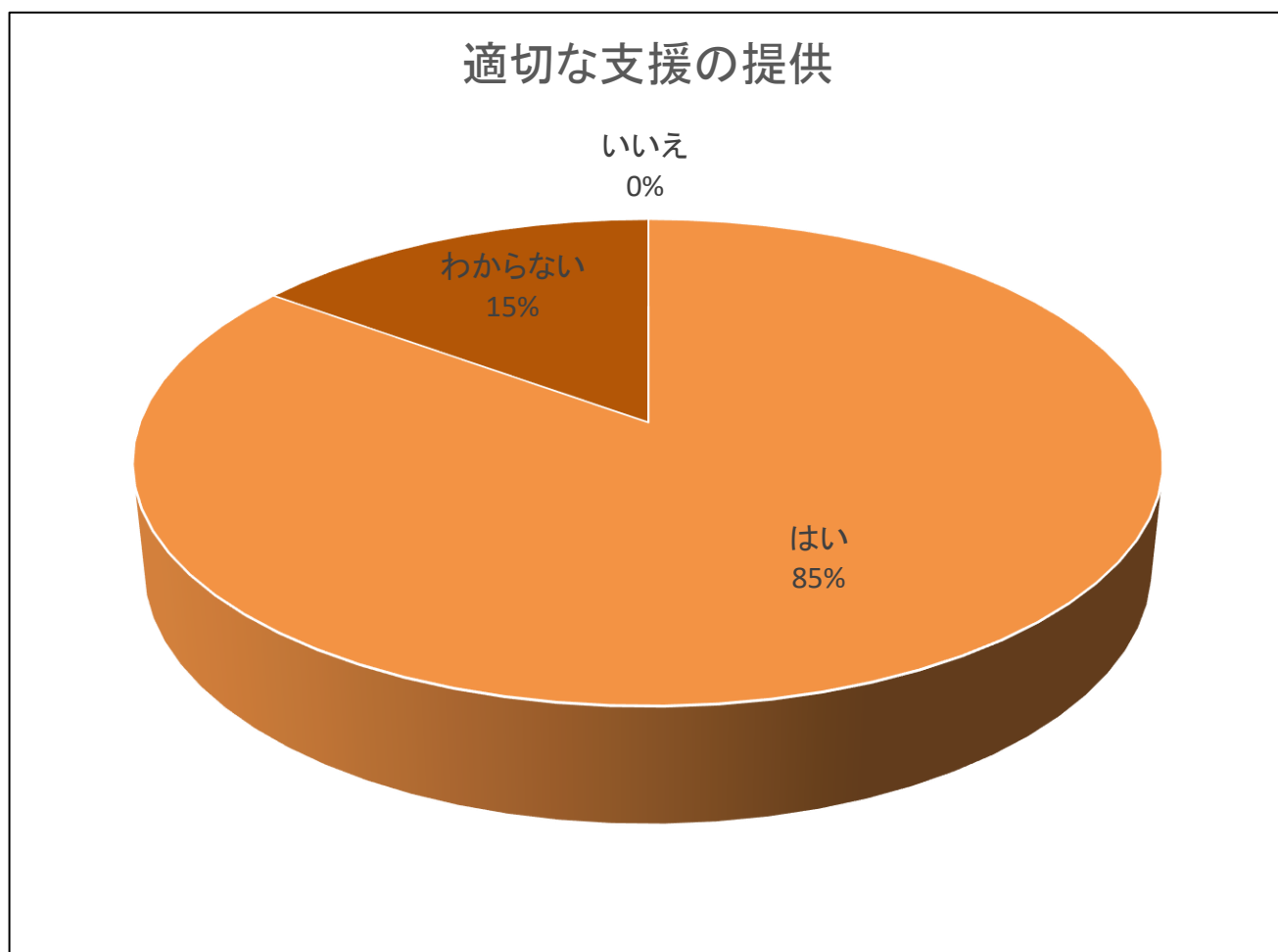
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 4 割合 100 %

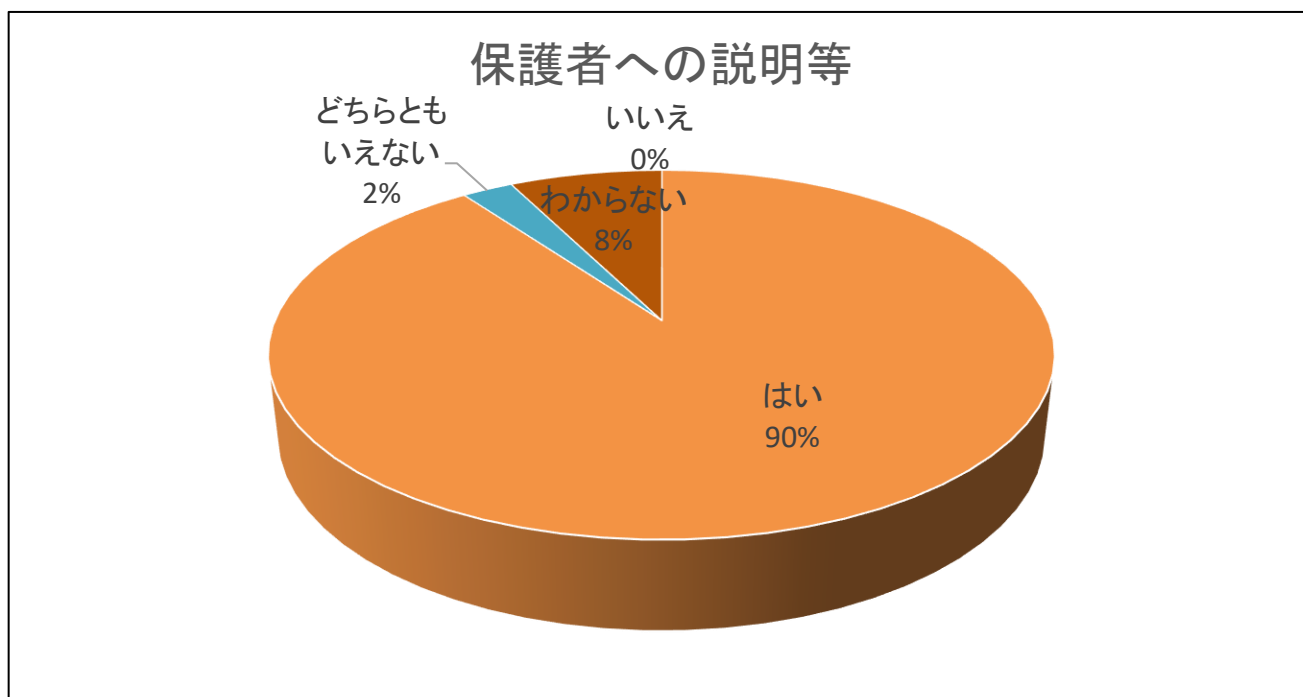
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		* 同事業所の交流スペースを利用したり、活動の時間帯をずらしてスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		* 基準上の人員を確保した上で、利用日、利用人数、時間帯によって対応できるようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0		* バリアフリー化となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		* 毎日清掃・消毒を行い、必要時に改善を図っています。
	合計			16	0	0	0	



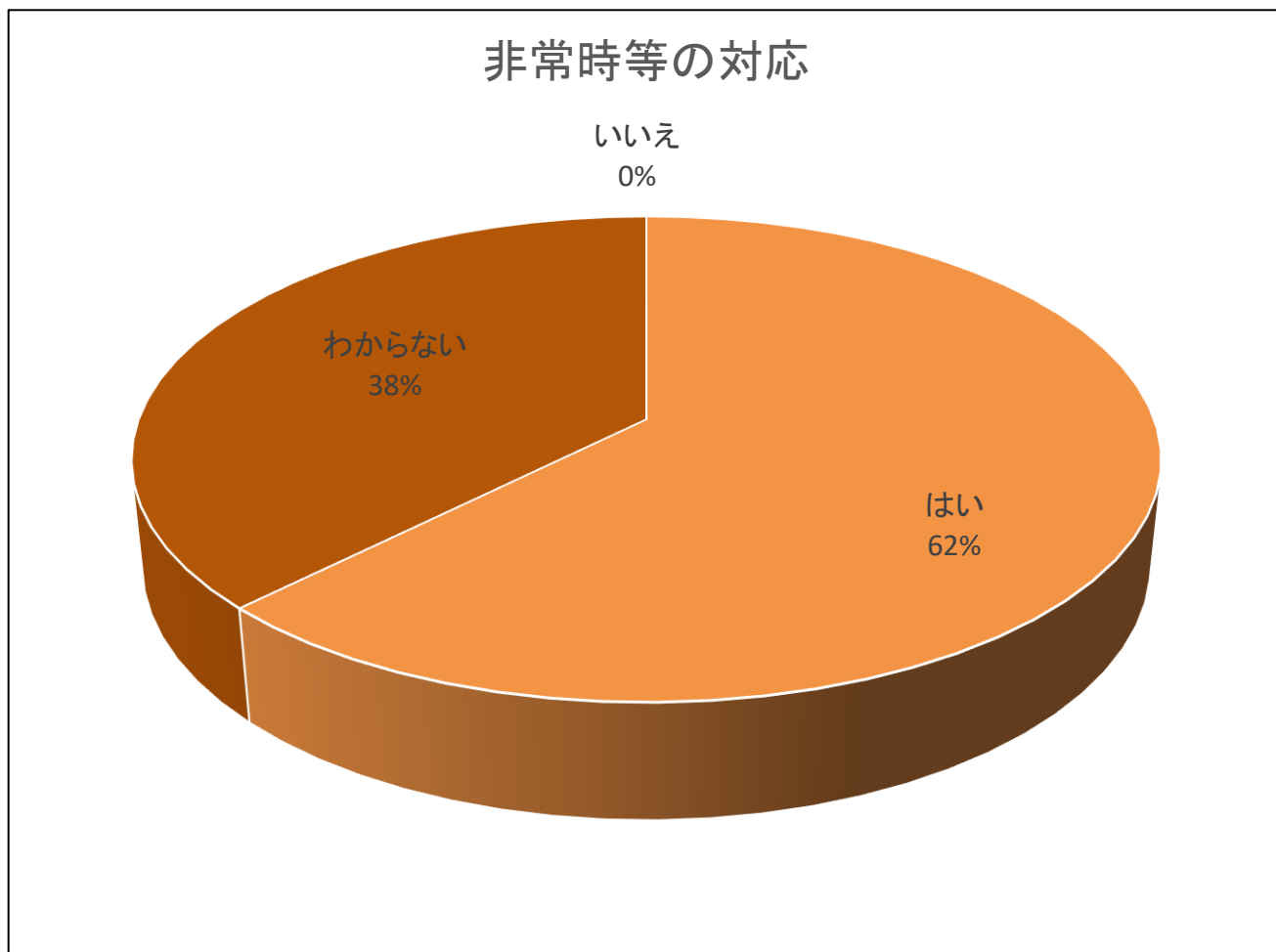
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	3	0	0	1		* サービス担当者会議や個別の聞き取りでアセスメントを行い、ニーズや課題を明確にし、関係機関の意見も参考にしています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0		* 1人1人の特性や必要性に合わせ、設定しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		* 児童発達支援計画に沿った支援を行っております。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	1		* 評価の際に、プログラムについて見直しを行い、固定化しないように工夫しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	0	1		* コロナ過のため、少人数で市が開催する障害のない子どもたちと活動するうさちゃん広場に参加しています。
		合計	17	0	0	3		



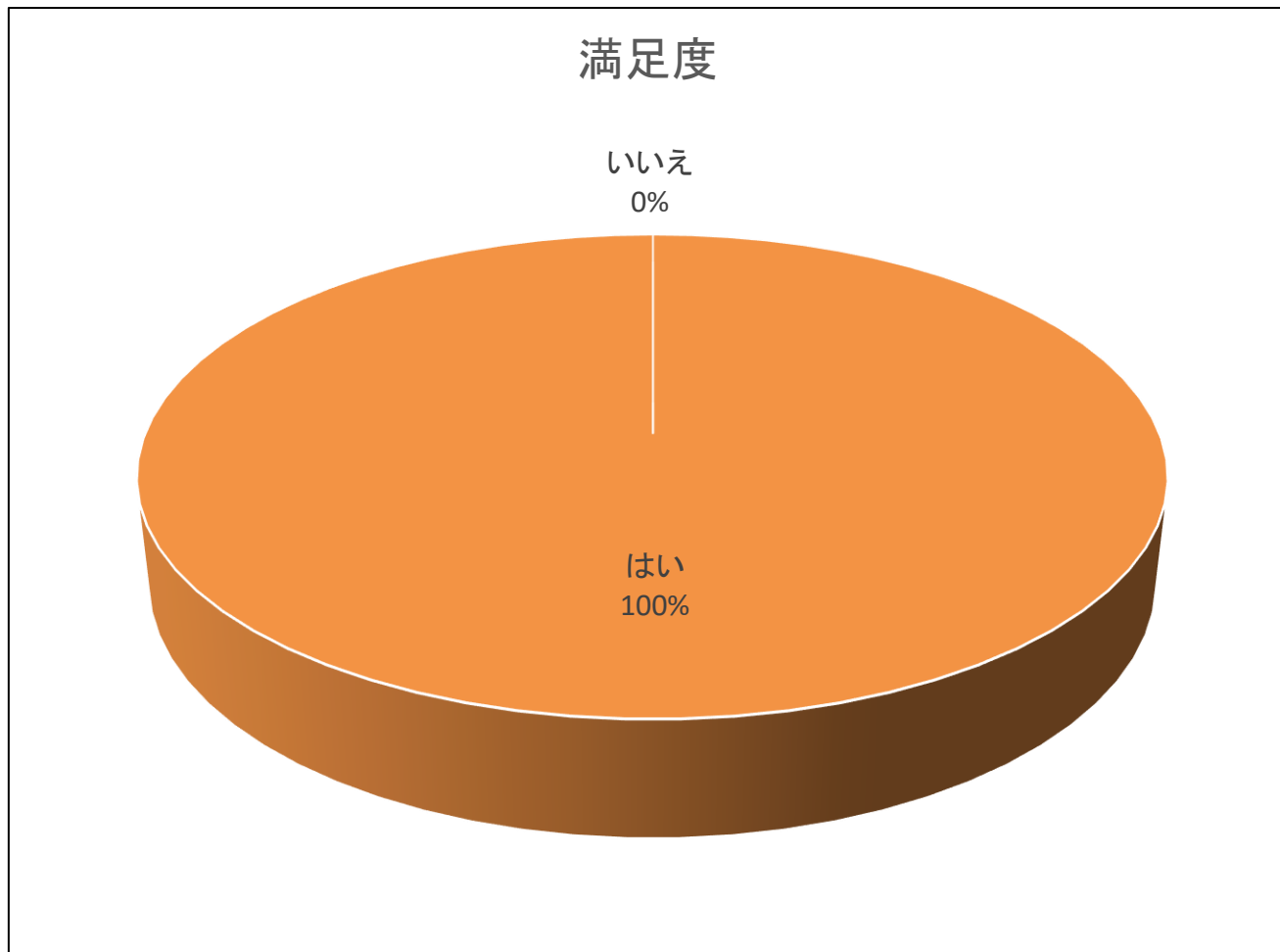
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		* わかりやすい説明を心掛けています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		* 口頭と書面により説明しています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	2	1	0	1		* 職員がペアレントトレーニングの研修を受け、体制を整えています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		* 送迎時や連絡帳でお伝えしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	0		* 相談機能を充実させていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	0	2		* コロナ過で叶わない部分もあったが、感染対策をしっかりとった上で保護者会を開催しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	0		* 保護者が要望を伝えやすい体制を整え、内容についても周知し、透明性を図ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		* 連絡帳や送迎時に情報を伝え合ったり、定期的にモニタリングをして相談しやすいように配慮しています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	0		* 毎月、行事予定のお便りを配布し、親の会の会報は、年3回程度発行しています。 * 自己評価の結果をホームページで公表し、お便り等で配布しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	0	0	0		* 個人情報については、職員に周知徹底しています。
		合計	36	1	0	3		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	0	0	1		* マニュアルは作成しており、発生を想定した訓練も定期的実施している。保護者に対してはSNS等で周知していますが、今後は親の会やお便り等でも周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	2		* 毎月1回、訓練を行っております。 * 法人のSNSにも掲載しております。
	合計		5	0	0	3		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		* 安全安心に楽しく通所して頂けるよう環境を整え、1人1人の特性に合わせた支援や活動ができるように支援しています。
	23	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0		* ご意見やご要望にできる限り添いながら、楽しく通所できるように支援しています。
	合計		8	0	0	0		



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。